

Best Available Copy

ORIGINAL

1

CD96

BILLCON

611215

D-202, D-204

混合紙幣計数機

取扱説明書

ビルコン株式会社

Best Available Copy

目 次

1. 仕様	-----2
2. 各部の名称とはたらき	-----3
3. 使用方法	-----6
4. 各計数モードによる計数	-----7
5. アラームの原因と処理	-----8
6. 取扱い上の注意	-----9

D-202、D-204 混合紙幣計数機 取扱説明書

概要 D-202及びD-204 混合紙幣計数機は3金種の紙幣を混合したまま計数してその合計金額と枚数を同時に表示します。‘金種指定’のモードにすると、指定した金種のみ計数してその中に指定金種以外の金種紙幣が混入している時、これを選別します。一般の紙葉の計数、プリセット計数も出来る多機能な紙幣計数機です。

1. 仕様

項 目	仕 様
計 数 対 象	国内紙幣 3金種(10,000円、5,000円、1,000円)及びこれに準ずる紙葉
計 数 速 度	600枚/分(通常流通紙幣)
計 数 モ ー ド	1. 金種混合計数 2. 金種指定計数 3. 紙葉(外国紙幣と紙葉)計数
プリセット計数	連続、10、100枚のバッチ計数及び加算表示 (但‘混合モード’ではプリセットはできません。)
計 数 表 示	1. 枚数表示 4桁 2. 金種表示 5桁 (1000円単位表示)
加 算 表 示	選択可能
エラー検知・表示	2重、連鎖、半券(縦又は横)、ジャム、‘金種指定’モード時の異金種、判定不能紙幣
外部インターフェース	D-202: RS232C及びセントロニクス(プリンター用) D-204: RS422及びセントロニクス(プリンター用)
ホ ッ パ 容 量	約350枚
ス タ ッ カ 容 量	約300枚
外 形 寸 法	幅 340mm × 奥行 335mm × 高さ 250mm
重 量	約12Kg
電 源	AC 100V±10% 50又は60Hz 電力 65W

2. 各部の名称とはたらき

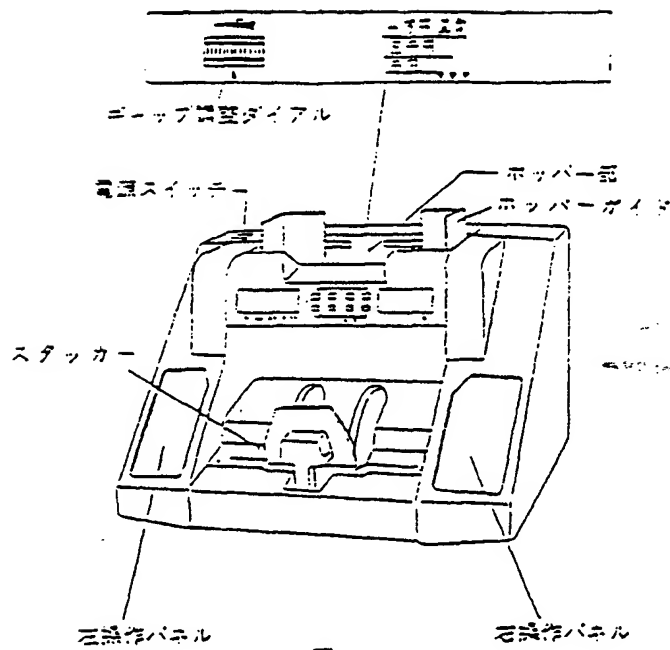


図-1

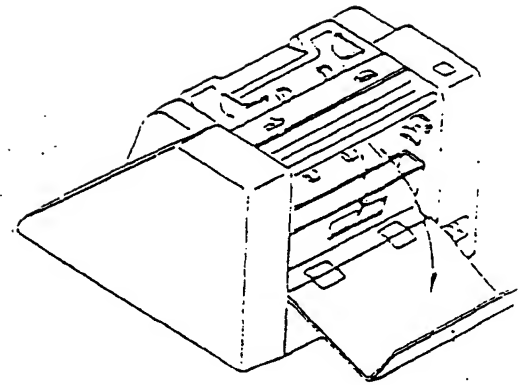
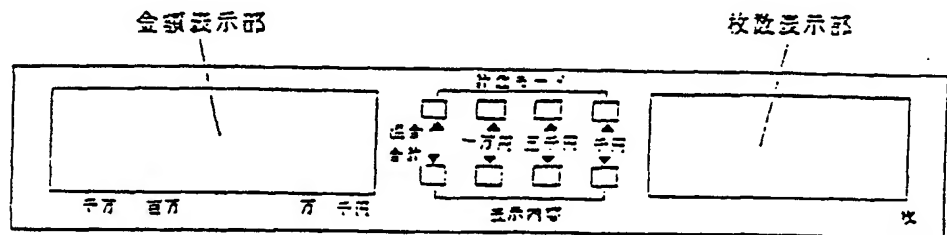
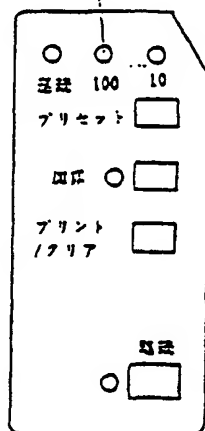


図-2

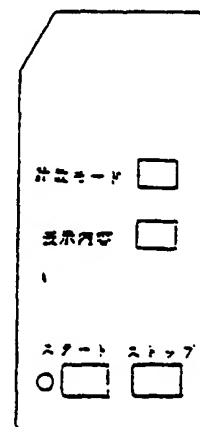


中央パネル

プリセット表示ランプ



左操作パネル



右操作パネル

図-3

名 称	は た ら き
電源スイッチ	押すと“ON”になり、もう一度押すと“OFF”となります。 電源が“ON”の時スイッチの中のランプがつきます。
金額表示部	金額を5桁(1000円単位)のLEDで表示します。
枚数表示部	計数枚数を4桁のLEDで表示します。
“加算”スイッチ	金額と枚数の積算表示を必要とする時、このスイッチを押して“ON”にします。“ON”の時ランプがつきます。
プリント/クリアスイッチ	このスイッチを押すと、金額表示、枚数表示共“0”になります。 但スタッカーに紙幣、紙葉が残っている時はクリアされません。 プリンター接続時にはプリンターのスタートスイッチとなります。
“プリセット”スイッチ	パッチ計数を必要とする時、このスイッチを押してプリセット数を選択します。(但し“混合”モード時は“連続”のみでプリセット計数はできません。)
“プリセット”表示ランプ	“プリセット”スイッチで選択されたプリセット数が点灯表示します。 表示ランプはスイッチを押すとその度に“連続”、“100”、“10”の順に移行します。
“継続”スイッチと表示ランプ	アラームで計数停止した時、アラームの種類に応じてこのランプが点灯します。原因を処理した後、このスイッチを押すと計数が継続されます。(8頁第5項)
“計数モード”スイッチと表示ランプ	このスイッチを押すと、その度に計数のモード表示ランプが“混合”から“1万円”、“5千円”、“千円”、“全て点灯しない”の順に移行します。 上記“全て点灯しない”の状態は紙葉計数(下記)を意味します。 金種混合: 計数モード表示ランプ“混合”を表示。 3金種の紙幣が混ざったまま計数できます。 金種指定: 計数モード表示ランプは“1万円”、“5千円”、“千円”の内1金種選択。 指定した金種を計数し具った金種の紙幣を検知します。 紙葉計数: 国内紙幣(上記3金種)以外の外国紙幣や紙葉の計数を行います。枚数表示だけで金額は表示しません。

<p>‘表示内容’スイッチと 表示ランプ</p>	<p>計数モード‘混合’の時計数後各金種の金額合計と枚数合計も知りたい時使用します。</p>
	<p>‘合計’ ‘1万円’ ‘5千円’ ‘千円’ の順に移行します。</p> <p>その表示を示す位置の表示ランプが点灯します。</p> <p>この表示は この‘表示内容’スイッチ操作後一定時間経過すると自動的に‘合計’表示に戻ります。</p>
<p>‘ストップ’スイッチ</p>	<p>計数途中に計数を止める時、使用するスイッチです。</p> <p>このスイッチを‘ON’にすると‘スタートスイッチ’左の‘スタートスイッチランプ’が点灯します。</p>
<p>‘スタート’スイッチと 表示ランプ</p>	<p>アラームで計数停止した時、アラームの種類に応じてこのランプが点灯します。原因を処理した後、このスイッチを押して、再計数をします。(8頁 第5項参照)</p>
<p>ホッパー部</p>	<p>計数する紙幣を のせるところで、左右に紙幅を決めるガイドが設けられています。 又、紙幣を載せる部分に紙幣の有無をチェックする検出器が ついています。</p>
<p>ホッパーガイド</p>	<p>紙幅を決めるガイドです。</p>
<p>ギャップ調整ダイヤル</p>	<p>計数する紙幣や紙葉の厚さ、紙質に応じて検出し ドラムのスキ間を調整するダイヤルです。 通常の紙幣の場合、矢印マークにダイヤルの赤マークを合わせた位置で使します。</p> <p>より厚い紙幣等を計数する場合には ダイヤルを‘THICK’ (厚い)の方へ回します。</p>
<p>後面カバー</p>	<p>紙幣が機械の内部に残ってしまったり、内部の清掃や点検をする時、このカバーを開けます。</p>
<p>中央パネル</p>	<p>金額と計数の表示、計数モードの表示ランプ及び各金種の表示内容を示す表示ランプがついています。</p>
<p>スタッカー</p>	<p>計数されて検出された紙幣がここで揃えられます。</p> <p>紙幣を揃えるための羽根車と紙葉受板からなっています。</p>
<p>左操作パネル</p>	<p>‘加算’スイッチとその表示ランプ、‘プリセット/クリアスイッチ’ ‘継続’スイッチとその表示ランプ 及び‘プリセット’スイッチとその表示ランプがついています。</p>
<p>右操作パネル</p>	<p>‘計数モード’スイッチ、‘表示内容’スイッチ、‘ストップ’スイッチ 及び ‘スタート’スイッチとその表示ランプがついています。</p>

3. 使用方法

次の手順に従って計数を行います。

手 順	内 容
(1)電源接続	電源コードを機械の後面にある電源レセプタクルに確実に差し込みます。(注)梱包をあけて始めて使用される場合、ゴムローラー類の保護のためガイド部がフリーとなっています。添付説明に従ってセットします。
(2)ギャップ調整	ギャップ調整ダイヤルの赤いマークを矢印の位置に合わせます。
(3)電源スイッチ“ON”	枚数表示部、金額表示部のすべての桁に“8”を表示し、数秒後に“0”になります。この時、モータも短時間回転して、若し機械内部に紙幣等が残っていれば、それを排除して停止します。 電源を“ON”にしたあと各スイッチのモードは次のようになります。 計数モードは“混合”、表示内容“合計”、プリセットは“連続”となります。
(4)計数モード設定	“計数モード”スイッチで“混合”、“金種指定”又は“紙葉計数”のいずれかを選択します。(但電源スイッチ“ON”直後は“混合”モードになっています。)計数後にモードを切換えると前回迄の計数内容はクリアされます。又、切換えた後スタックに前回計数した紙幣が残っている時は計数機は動作しません。
(5)プリセット数の選定	プリセットスイッチで“連続”“100”“10”を選びます。
(6)加算の選択	計数した枚数と金額の値を積算したい場合には、加算スイッチを“ON”にします。加算スイッチ“ON”の場合、計数された紙幣をスタックから取り除いても、計数表示はクリアされずに加算されていきます。 プリント/クリアスイッチを押すとその計数値はクリアされますが、スタックに紙幣が残っている時には、クリアが出来ません。
(7)計数	紙幣を良く揃えてホッパーに載せます。自動的に計数を始めます。 紙幣をホッパーに載せてからスイッチにてスタートさせる場合は、あらかじめストップスイッチを押しておき、その後スタートスイッチを押します。

4. 各計数モードによる計数

各計数モードの選択時、次の仕様に適した計数モードを選択して下さい。

	混 合	金 種 指 定	紙 葉 計 数
計数対象の紙幣 と紙葉	国内紙幣(1万円、5千円 千円)の混合計数。	国内紙幣(左記)の内 1金種に限った計数。	国内紙幣(左記)以外 の 外国紙幣や紙葉の計数。
“計数モード” の選択	混 合	“1万円” “5千円” 及び “千円” を選択。	全ての“計数モード” の 表示ランプは点灯しま せん。
金額表示	混合金種の合計金額	指定金種の合計金額	表示しません。
枚数表示	混合金種の合計枚数	指定金種の合計枚数	紙葉の合計枚数
“表示内容” スイ ッチによる金額 及び枚数表示	各金種の合計金額を枚数 合計を表示しますが スイッチによって指定金 種の金額と枚数を選択表 示できます。	_____	_____
“プリセット数” の選択	“連続” 計数のみプリセッ トはできません。	“連続” “100” 又は“10” を選択	
プリセット時の 計数動作と金額	ホッパー上の 全紙幣を 計数。スタッカーより紙 幣を取り除くと各表示共 “0” に復帰して、次の計 数を開始。但し、加算スイ ッチ “ON” 時は各表示共 0に復帰せず加算します。	プリセット数に達した時、ブザーが鳴り、計数は 自動的に停止します。スタッカーから紙幣を取り 除くと各表示共“0” に復帰して次の計数を開始。 但し、加算スイッチ“ON” の時の 計数表示は復帰 せず加算されていきます。	

5. アラームの原因と処理

計数中にアラームが発生すると、計数は自動的に停止します。

アラームの状態を大別すると、停止と同時に表示が点滅するだけのAアラームと、表示点滅と同時にブザーが鳴るBアラームの2種類があり、それぞれ処理の方法が次に示すように違います。

5-1 Aアラーム

このアラームの時は、"スタートランプ"が点灯しますので再計数をします。

原因の種類	状 態	アラーム表示	処 置
ジャム	機械の中に紙幣が残ってしまった場合。	*表示点滅	<ul style="list-style-type: none"> ・後面カバーを開けて エプロン部を下に下げ、(図-2 参照)内部に残っている紙幣を取り除き ホッパーに戻します。 (ジャムの場合のみ) ・スタッカー部の計数済紙幣もホッパーに戻します。 ・"スタート"スイッチを押すと、表示は"0"に復帰して計数が再開されます。 (但し、バッチ計数モードで加算スイッチONの場合は、表示は前回迄の累積数に戻り、加算されます。)
連 鎖	複数の紙幣が間隔をあけずに繰出された場合。		
二 重	複数の紙幣が重なって繰出された場合。		

5-2 Bアラーム

このアラームの時は"継続ランプ"が点灯すると同時にブザーが鳴り、継続計数を行うことができます。

原因の種類	状 態	アラーム表示	処 置
半 券	上下方向 又は 左右方向に分割された紙幣が検知された時。	*表示点滅と ブザー音	<ul style="list-style-type: none"> ・原因となった紙幣(最後に繰出された紙幣)だけをスタッカー部から取り除きます。 ・"継続"スイッチを押すと計数が継続します。 ・計数の表示は、停止前の表示値に加算されていきます。
判定不能	紙幣の判別が不可能な場合。		
指定金種	"金種指定"計数時に具金種が検知された時。		

* 上記表示点滅は、金額表示 及び 枚数表示が点滅します。

6. 取扱い上の注意

6-1 計数に不適当な紙幣の除去

次のような紙幣は、アラームの原因となったり、計数上支障をおこす場合があります。出来れば事前に取り除きます。しわが極端に多いもの、隅が折れたり、切れたりしているもの、穴があいたり破れたりしているもの、粘着テープ等が貼ってあるもの、著しく汚れているもの。

6-2 連鎖エラーが頻発する場合

ギャップ調整ダイヤルが適正なセット位置になっていないため、繰り出しが正しく行なわれていないためです。

ダイヤルを1～2目盛“THIN”(薄い)の方へ回し、正しく繰出すように調整します。(通常の赤線マーク目盛からズレても差しつかえありません。)

6-3 二重エラーがおきやすい場合

この場合も、ギャップ調整ダイヤルのセット位置が不適当で、複数の紙幣が同時に繰り出されてしまうためです。

ダイヤルを“THIN”の方へ回して調整します。

又、実際に汚れの大きい紙幣が二重紙幣として検出されることもあります。

これは、取り除きます。

6-4 使用場所

極端に明るい場所(太陽光線が直接入る場所)での使用は避けて下さい。

6-5 ランプ・センサーの清掃

センサーの部分に、紙、ホコリ等が付くとアラームとなることがあります。

1日に1回はセンサー部分の清掃をして下さい。

柔らかいブラシか乾いた布でセンサー及びランプの表面を拭いて下さい。

ランプとセンサーは、次の場所にあります。後面カバーを開けると下側ガイド板があり、このガイド板を下げると、このガイド板にランプがついています。(図-2参照)

センサーは、これらのランプに対向した上側の位置にあります。

6-6 ローラの清掃

長時間使用していると、各ローラの表面に印刷インクや油脂類の汚れが付着します。紙幣の繰り出しに影響を及ぼすこともありますので、2ヶ月に1回程度、少量のアルコールを浸したきれいな布で、その表面を拭いて下さい。

(シンナー、ベンジン類は避けて下さい。)

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)